

(今月の行事予定)

日	曜	法 座 行 事	各 地 方 行 事	時 刻	場 所
11	金	恩師月御命日（11 番読誦）		午後 7 時 30 分～	本部講堂
13	日	富井支部長供養（13 番読誦）		午前 8 時 30 分～	本部講堂
20	日	御本部法座日 〈経巻導師 村上 恵一〉	(打ち合わせ会)	午前 9 時～	本部講堂
22	火	恩師奥様月御命日（22、23 番）		午後 7 時 30 分～	本部講堂

●恩師御法話 S45. 09. 18

先祖供養しながら、己が懺悔させて頂く。

不平不満一杯の獣同様の心の己に気付かせて頂いた。

10 年、20 年修行しながら、仏恩に気付かなかった。仏恩を考えた事もなかった。

犬猫にも虫けらにも劣る人間であった。己自身に対する真心しかない自分であった。

仏恩に対するお返し、真心でもってお返しする事は、衆生を済土する事。

されば必ず先祖も成仏できるだろう。家庭の状態ががらりと変わる。実相が変わる。

●お知らせ

①13 日(日)夜の口座はありません。経巻は当日 13 日(日)午前 8 時 30 分より御手配を賜ります。

一人でも多くのご参加をお願い致します。

②行事予定に変更がある場合には、その都度連絡させて頂きます。

※奉仕作業につきましては、その都度の確認、個々の用事・体調等、無理のない程度での参加としてください。

※今後の予定（◆10 月中旬 しめ縄用わら回収 ◆11 月出雲参拝）



編集後記

まだまだ暑い日が続いていますが、暦の上では 9 月はすでに秋となります。23 日の秋分の日を挟んで、20 日は秋の彼岸の入りとなり、そこから彼岸明け 26 日までの 7 日間が秋のお彼岸です。

仏教では「彼岸」は悟りの世界を言い、丁度昼と夜が同じ長さになる日は、この世（此岸）とあの世（彼岸）が繋がりがやすくなる時と考えます。そして、その時期をお彼岸と呼び、お墓参りをしてご先祖様へ感謝を伝え、御供養をする風習となりました。

秋分の日を過ぎると、段々日が短くなっていき、東洋医学的には陽から陰へ変化の時を迎えます。黄帝内経によりますと、秋は「収斂」（しゅうれん）の季節と言われます。万物が成熟し収穫される季節ですので、昔から各地で秋の収穫祭やお祭りがあります。

徐々に活動的な陽の時期から、だんだんと強い風が吹き、大地には肅清とした気配が漂ってきます。秋の養生法は早寝早起きです。心持ち何をするにも、油断なく冷静さを心がけてまいりましょう。

皆様方におきましては、日々、御神仏にしっかりとすがりつつ精進と変え行きましょう。

今後も様々な情報を発信していきます。次号は 10 月 1 日発行です。